

令和5度「文化芸術による子供育成推進事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	伝統芸能	種目	人形浄瑠璃
----	------	----	-------

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分のみ
------	-------

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	有	申請総企画数	3企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しなければ、複数の企画を実施可能
--------------------	----------------------------

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	いっばんしゃだんほうじんいっしぎ		団体ウェブサイトURL
	一般社団法人一糸座		https://isshiza.com
代表者職・氏名	代表理事 田中恵		
制作団体所在地	〒 187-0043	最寄り駅(バス停)	西武多摩湖線一橋学園駅
	東京都小平市学園東町1-7-41 ナカムラビルB1		
電話番号	042-313-5205		
ふりがな 公演団体名	いとあやつりにんぎょういっしぎ		団体ウェブサイトURL
	糸あやつり人形一糸座		https://isshiza.com
代表者職・氏名	代表:江戸伝内(三代目結城一糸)		
公演団体所在地	〒 187-0043	最寄り駅(バス停)	西武多摩湖線一橋学園駅
	東京都小平市学園東町1-7-41 ナカムラビルB1		
制作団体 設立年月	2005年5月		
制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等
	代表理事 田中恵 社員 田中敬三 田中民子 田中敬太 真鍋貞樹	人形遣い:結城一糸 結城民子/江戸伝内 制作・美術:田中めぐみ 田中まりな 加入条件:古典糸あやつり人形の技術を継承し それを発展させる意欲のある人間	
事務体制 (専任担当の有無)	専任の事務担当を置く	本事業担当者名	結城民子
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	田中恵

<p>制作団体沿革</p>	<p>2003年 結城座から独立 2005年 劇団設立「江戸糸あやつり人形座」公演事業開始 2011年 劇団設立7周年記念公演 2012年 株式会社「江戸糸あやつり人形座」設立 2014年 劇団設立10周年記念公演 2015年 株式会社「糸あやつり人形一糸座」と座名を改称 2016年 一般社団法人「一糸座」設立</p>	
<p>学校等における 公演実績</p>	<p>1973年～「戻り橋」演目15公演～(独立以前からの公演も含む) 2005年「東海道中膝栗毛/八百屋お七」8公演 2008年「東海道中膝栗毛/八百屋お七」5公演 「中国・北京公演/三番叟/寿獅子/証誠寺の狸ばやし」3公演 2010年「三番叟/橋弁慶/田能久/寿獅子」15公演 「綱館」他 明治学院大学メモリアルホール 2公演 2015年「チェコ・スロバキア公演・釣女/鈴ヶ森/三番叟」3公演 「イタリア・ボローニャ大学/八百屋お七・三番叟・寿獅子」1公演 「イタリア・パレルモ演劇祭/八百屋お七・三番叟・寿獅子」2公演 2016年「釣女/田能久/寿獅子」15公演 2017年「廿四孝/鈴ヶ森」5公演 2018年「三番叟・鈴ヶ森」明星大学シェイクスピアホール 1公演 2022年「廿四孝/二人三番叟/八百屋お七」3公演</p> <p style="text-align: right;">他多数・公演実績有</p>	
<p>特別支援学校等における公演実績</p>	<p>2018年度巡回公演において、八王子特別支援学校でワークショップ・本公演実施。 2021年度巡回公演において、広島県立尾道特別支援学校でワークショップ・本公演実施。 2021年度 小平市特別養護学校、コロナ禍のため、リモートで人形体験と鑑賞体験実施。</p>	
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p>https://youtu.be/ZnliW4KN3rg</p>
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>
		<p>PW:</p>

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 系あやつり人形一糸座】

対象	小学生(低学年)	○	
	小学生(中学年)	○	
	小学生(高学年)	○	
	中学生	○	
企画名	江戸時代へタイムスリップ！子供たちに贈る楽しい人形浄瑠璃		
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>【全ての演目を義太夫の生演奏で上演します】</p> <p>○義太夫 東海道中膝栗毛(赤坂並木から卵塔場) 原作:十返舎一九 監修:江戸伝内 脚色:江戸伝内(生徒出演部分)</p> <p>○義太夫 橋弁慶</p> <p>○義太夫 本朝廿四孝 振付:西川千雅</p> <p>【公演構成】</p> <p>1, 挨拶</p> <p>2, 東海道中膝栗毛(上演前に演目解説 生徒出演あり)</p> <p><休憩></p> <p>3, 橋弁慶(上演前に演目解説)</p> <p>4, 本朝廿四孝(上演前に演目解説)</p> <p>5, 感想発表・質問コーナーなど</p> <p style="text-align: right;">公演時間 90 分</p>		
著作権、上演権利等の許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当なし	該当コンテンツ名
	該当事項がある場合	権利者名	許諾確認状況
			内部保有
演目概要	<p>【東海道中膝栗毛】弥次郎兵衛と喜多八は、ヒョんな事から江戸を飛び出し上方に向けて呑気な旅を続けています。日も暮れて赤坂の宿外れの並木道までやって来た二人は、道を間違え卵塔場(墓場)に迷い込みます。お使用で酒を買いにきた小僧と出くわすと、臆病な二人はその子供を一目小僧と間違えて殴ってしまいますが、その子が大声で泣き出し、その声を聞きつけたおじいさんがやってきて、弥次郎兵衛の胸ぐらをつかみ、弥次郎兵衛は気を失ってしまいます。目が覚めて死んだとばかり思った弥次郎兵衛の嘆きのシーンが楽しい作品です。軽妙な江戸前の台詞と浄瑠璃でお楽しみ頂きます。冒頭のシーンで村人達の人形を生徒さんに遣ってもらいます。</p> <p>【橋弁慶】牛若丸は、京都五条大橋で毎夜通行人に腕試しを挑み、家来にすべき勇士を探しています。一方、比叡山の武蔵坊弁慶は、五条大橋で通行人を悩ます者の噂を聞き、五条大橋にやってきます。そこで初めて弁慶と牛若丸が出会う有名なシーン。立ち廻りの末、弁慶は牛若丸に打ち負かされ、その若者が牛若丸と聞いて降参し、主従の契りを結びます。</p> <p>【本朝廿四孝】上杉謙信の娘「八重垣姫」と武田信玄の息子「勝頼」は、結婚の約束をしている間柄でした。しかし武田家と上杉家の仲が悪くなり、謙信は勝頼を塩尻まで行く用を言いつけ、あとから追手を差し向けます。それを知った八重垣姫は勝頼の無事を諏訪神社の呪いに一心に祈ります。すると呪いに狐がのりつり、凍った諏訪湖を兜と共に渡ります。八重垣姫は追手より先に勝頼に追いつき、身の危険を知らせ、勝頼の命を救います。</p>		
演目選択理由	<p>■東海道中膝栗毛(赤坂並木から卵塔場)</p> <p>江戸文学の代表的な作家十返舎一九の書いた東海道中膝栗毛。江戸庶民の代表ともいえる弥次郎兵衛と喜多八の軽妙洒脱で歯切れの良い道中記です。江戸で生まれ育った系あやつり人形に、最も相応しい作品です。</p> <p>■橋弁慶</p> <p>本格的な人形浄瑠璃を、小・中学生の皆さんに分かりやすくまた、楽しんで頂くために、良く知られている作品で、上演時間の比較的短いものを選びました。弁慶と牛若丸の立ち廻りが見どころです。</p> <p>■本朝廿四孝</p> <p>日本の系あやつり人形の女形は、大変美しく、動きも柔らかいのが特徴です。その中でもお姫様の人形は長い修行を重ねた人形遣いのみが造るものです。日本の系あやつり人形の醍醐味を味わっていただける作品です。</p>		
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	<p>東海道中膝栗毛の演目の冒頭で、村人たちが畑仕事を終え、家路に付くシーンが入ります。そこに出てくる村人4人を、小学校高学年、中学生の皆さんに人形を遣って演じてもらいます。簡単な台詞もありますので、ワークショップ終了後、出演の決まった生徒さんは本番までに台詞を覚えて頂きます。公演当日は、出演者と同じ黒衣(くろこ)または、緑衣(みどりこ)を着用してもらいます。</p>		
出演者	<p>■人形遣い</p> <p>四代目結城一糸 江戸伝内(三代目結城一糸) 結城民子 結城まりな 土屋渚紗 眞野トウヨウ</p> <p>■義太夫</p> <p>浄瑠璃:竹本越孝 竹本綾一</p> <p>三味線:鶴澤三寿々 鶴澤津賀榮</p> <p>鳴り物:望月太意三郎 福原徹秋</p> <p>■演目解説</p> <p>永野和宏</p>		
本公演従事予定者数(1公演あたり) ※ドライバー等訪問する業者人数含む	<p>出演者: 13 名</p> <p>スタッフ: 7 名</p> <p>合計: 20 名</p>	運搬	<p>積載量: 2.5 t</p> <p>車長: 7 m</p> <p>台数: 1 台</p>

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み	無	前日仕込み所要時間		—	時間程度
	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出
	8:30	9:00～12:00	13:30～14:50	15分	15:00～17:00	17時30分
	※本公演時間の目安は、午後、概ね2時間分程度です。					
本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月	
	22日	14日	0日	0日	0日	
	11月	12月	1月	計	52日	
	0日	16日	0日	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。		
児童・生徒の 参加可能人数	本公演		共演人数目安	4名(糸あやつり人形を遣って参加します)		
			鑑賞人数目安	100名～300名		



体育館ステージに舞台を設置します。
低いステージの場合は、舞台をかさ上げする
場合もあります。

舞台設置に必要なサイズ
横幅 約8m
奥行 約4m



体育館フロアに、向かって右側に
義太夫の舞台を設置します。

フロア左側には、鳴り物コーナーを
設置します。

舞台大きさ
横幅 4m50
奥行 1m80

写真左下

舞台上に人形芝居のためのセットを設置します。
※東海道中膝栗毛生徒出演場面(稽古風景)



写真右下 ※廿四孝上演の様子



【公演団体名 糸あやつり人形一糸座】

児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	小学校は高学年推奨(100名程度まで応相談)
<p>ワークショップ 実施形態及び内容</p>	<p>所要時間:約90分</p> <p>1)まず初めに人形についての解説を行います。日本の糸あやつり人形は、どうやって動くのか、糸はどんなところに付いていて、どうやって動かしているのか、生徒さんからの質問にも答えながら解説をしていきます。</p> <p>2)日本の糸あやつり人形の歴史の解説。 日本の糸あやつり人形の歴史について知ることも、伝統芸能を知る上でとても重要な事です。分かりやすく、歴史に興味を持てるよう解説していきます。</p> <p>3)人形の体験 代表の生徒さん数名に舞台上上がってもらい、人形を遣う体験をしてもらいます。 糸あやつり人形を動かす基本となる、「歩く」という事からはじめ、障害物を超えたり、色々な動作を体験してもらいます。 ※数名の生徒×3回程度繰り返します。 1)～3)を40分程度</p> <p><休憩>10分</p> <p>4)木がしらの音と共に人形達が登場し、芝居(鈴ヶ森)の中の一部分を上演します。 登場人物は、白井権八という若い侍と、雲助と呼ばれる強盗たちの一味です。 雲助たちは、白井権八を捉えると褒美の金をもらえる事を知り、旅の途中の権八に切りかかります。 この立ち廻りは、糸あやつり人形独特の仕掛けが沢山あり、楽しみながら日本の伝統芸能を知ることができます。</p> <p>5)代表の生徒さんに立ち廻りの稽古をしてもらいます。立ち廻り際にはツケとキガシラという音が入ります。その音に合わせて上手く立ち廻りができるように、体験してもらいます。</p> <p>6)立ち廻りでは、色々なしかけの人形があります。芝居のワンシーンを実際のツケとキガシラの音に合わせて、しかけの人形の体験にも挑戦してもらいます。</p> <p>7)最後に、体験できなかった人にも観ていて感じたこと、質問などのコーナーをもうけます。 ※休憩前と同じく数名の生徒×3回程度繰り返して行います。 4)～7)を40分程度</p>		
<p>ワークショップの ねらい</p>	<p>日本の糸あやつり人形は、他の伝統芸能よりも更に観たり体験したりする機会が少ないと思います。巡回公演事業を通して、是非日本の糸あやつり人形の楽しさを知ってもらいたいと思います。人形は、簡単そうに見えて、「意外と重くて自由に動かない！」事に気づいてもらえます。</p> <p>思ったように動かない人形を、生きた人間のように遣う仕事を一生の仕事としている人達がいる事を知り、自分たちがやりたい事も一つの事を達成するには、時間と努力が必要だということを知ってもらえるきっかけになる事を期待したいと思います。</p>		

その他ワークショップに
関する特記事項等



※人形体験の様子

クラス単位、など少人数でのワークショップでは、体育館フロアにて解説、体験を行うことも可能です。



※舞台上での人形体験

50名以上の体験の場合は、舞台上で解説、体験を行います。